

各位

会社名 株式会社BTM
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 田口 雅教
(コード番号: 5247 東証グロース市場)
問合せ責任者 取締役兼 CFO 懸川 高幸

2025年3月期第2四半期(中間期)決算 子会社設立 資本業務提携 質疑応答集

2024年11月13日(水)発表の2025年3月期第2四半期決算および2024年11月20日(水)発表の子会社設立並びに2024年11月28日(木)発表の株式会社ヘッドウォータースとの資本業務提携に関して、当社で想定していました質問並びに発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問合せ内容をまとめましたので、質疑応答集として以下の通りお知らせいたします。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

質問1

売上高が前年同期比で+28.8%と大幅な増収でした。好調の要因を教えてください。

回答1

DX市場の拡大によって需要が堅調に増加するなか、1Qからの継続案件に加え、新規案件の獲得が進んでおります。
また、積極的な人員の増強により人件費等のコストはアップしたものの、人員増加が売上に対してコストアップ分を上回る水準で大きくプラスになったことで、四半期として過去最高となる売上高を達成することができたと考えております。

2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算概要



P/Lサマリー

売上高は前年同中間期比+28.8%増の24.8億円、**Q売上では過去最高を達成**
人材投資などにより販管費は増加しているものの、**大幅増収により営業利益も増益に**

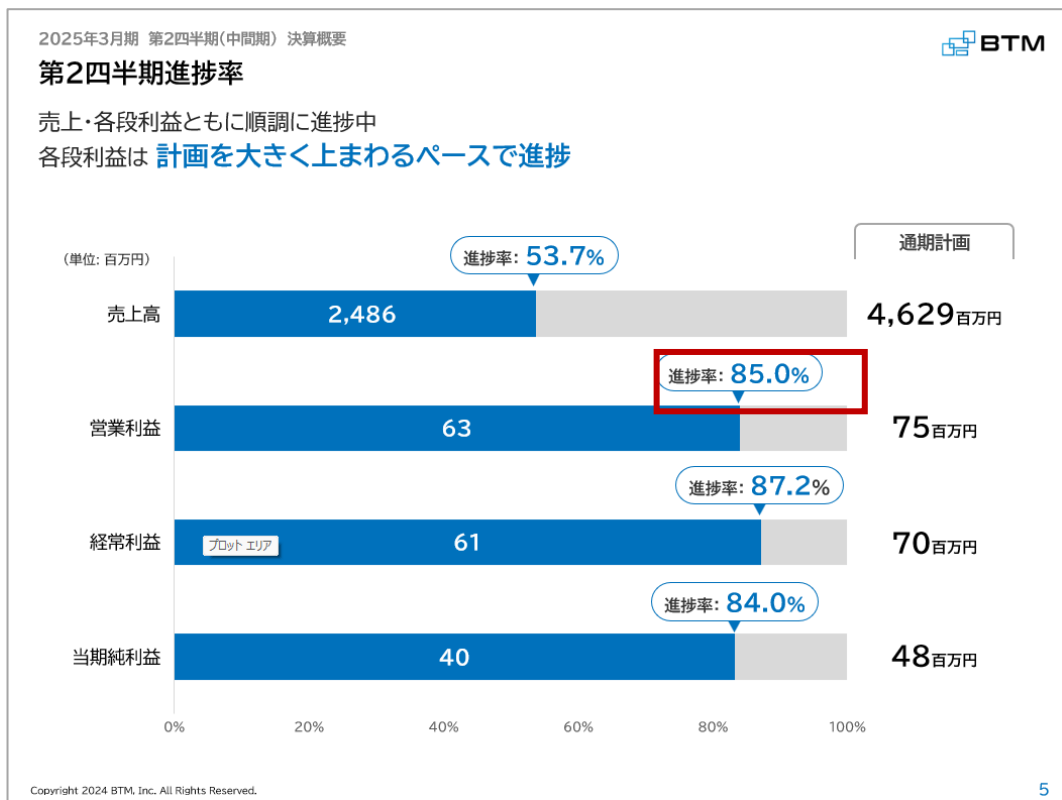
(単位:百万円)	24/3期 2Q		25/3期 2Q		前年 同中間期比
	額	率	額	率	
売上高	1,930	-	2,486		+28.8%
売上総利益	321	16.7%	375	15.1%	+16.9%
販売費及び一般管理費	260	13.5%	311	12.5%	+19.9%
営業利益	61	3.2%	63	2.6%	+4.0%
経常利益	61	3.2%	61	2.5%	+0.5%
中間期純利益	43	2.2%	40	1.6%	△5.7%

質問2

2Q時点での営業利益の対通期予想進捗率は85.0%とのことですが、通期予想の修正はしないのでしょうか？ 下期に集中的な投資予定があるのでしょうか？

回答2

2025年3月期は通期を通して中期的な成長や生産性向上のための人材投資を実施する計画で進めております。下期に集中的に投資をすることが決定しているわけではありませんが、M&Aなどの大規模投資を行う可能性もあるので、現時点では期初の予想を据え置きとしております。修正すべき事項が発生しましたら、速やかに開示いたします。



質問3

中期的な成長目標について教えてください。

回答3

今後もDXニーズは継続して拡大していくと見込んでいますので、DX案件の獲得に注力することで、さらに業績の伸長を目指していくことを考えております。特に今期は、今後の成長加速に向け、中長期を見据えた成長投資を行っています。

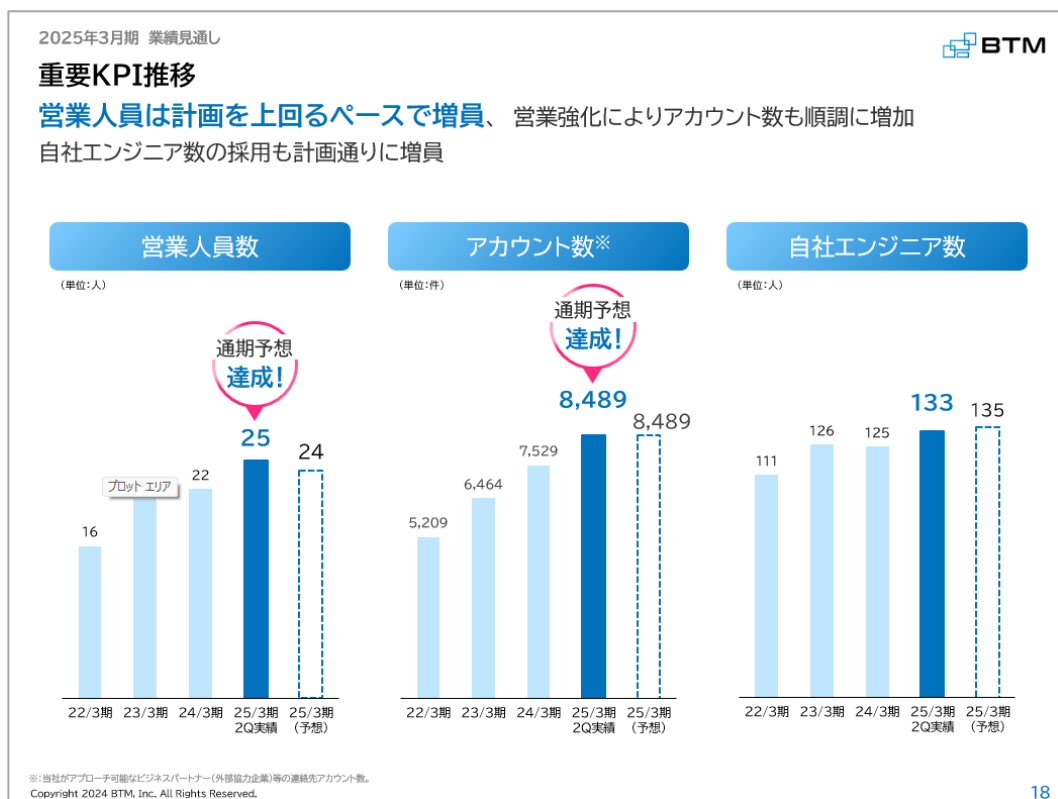
また、2024年5月に公開した「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載しているとおり、既存事業においても売上高・営業利益ともに成長・増加させていくことを目指し、社会のDX化推進に、より一層貢献してまいります。

質問4

2025年3月期は、中期的な成長に向けて積極的な人材投資を行うため前期比増収ながらも減益計画とのことでしたが、計画に反して増益になっています。成長に向けての積極的な人材投資は予定通り進んでいるのでしょうか？

回答4

成長に向けた積極的な人材への投資は、計画通りに進めております。具体的には、自社エンジニア増員に向けた待遇改善、営業人材・幹部人材の増員、営業体制強化のためのコンサル導入、マネジメント層向けの研修導入等となっております。人材投資の実行を進めた結果、営業・エンジニアの増員や離職者の減少などの成果がすでに出はじめております。今後、営業体制強化の成果も下期以降の売上高などに現れてくることを想定しております。



質問5

企業へエンジニア人材を提供する「ITエンジニアリングサービス」とDXコンサルを含めてシステム開発を行う「DXソリューションサービス」の2事業を軸に展開していると思いますが、その売上比率を教えてください。また、中期的な見通しも教えてください。

回答5

現在は「ITエンジニアリングサービス」が約8割、「DXソリューションサービス」が約2割となっています。中期的には金融機関との連携などもあり、「DXソリューションサービス」の割合が4割程度まで引き上がることを見込んでおります。また、「DXソリューションサービス」の拡大が、地方のDXを進める第一歩になると考えておりますので、引き続きDX案件の獲得に注力してまいります。

質問6

11月20日付で子会社設立のリリースがありましたが、今後業績に対してどういった影響があると想定しているのか教えてください。

回答6

日本の労働人口の減少や近年の急速なAI技術の発展に伴い、さらなる生産性向上のため、DX市場においてもAI技術は欠かせない要素になっていくと考えております。

こういった社会の潮流を背景に、AI技術領域に特化した子会社を設立することで、これまでに培ってきた日本全国に広がる人材ネットワーク並びに地方人財の採用及び育成力を活用し、独自のAI領域のシステム開発並びにソリューションサービスを提供することで、当社業績にもプラスの影響があると見込んでおります。

※参考：[「子会社設立に関するお知らせ」](#)

質問7

ヘッドウォータース社との業務資本提携について、目的や業績への影響について教えてください。

回答7

11月28日のリリースにあった通り、株式会社ヘッドウォータースとの間で資本業務提携を合意いたしました。

ヘッドウォータース社とは、2023年2月16日付で協業強化を公表して以来、スマートシティ推進支援サービスの拡大や地方企業のDX推進等において連携してまいりました。AI市場が拡大する中で、AI領域を得意とするヘッドウォータース社と、IT人材の調達や地方人財の活用に強みをもつBTMが提携を強化することで、両社の業績向上および企業価値増大に繋がるとの判断から、今回の戦略的な資本業務提携の合意を行いました。

今期の業績への影響は軽微ですが、中長期的には連結業績の向上に資するものと考えております。

※参考：[「株式会社ヘッドウォータース及び株式会社BTMによる戦略的な資本業務提携の合意についてのお知らせ」](#)

以上

< 参考資料 >

[BTM 2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料
決算動画配信中](#)